

## 報告事項

### 1. 令和元年度事業報告・公益目的支出計画実施報告の件

#### 1. 事業内容

##### (1) 広報事業

###### 1. 機関誌発行事業

月刊「畑地農業」NO. 725号（4月）～736号（3月）を発行した。

発行部数：400部      購読部数：171部

###### 2. ホームページ提供事業

畑地農業振興会ホームページを逐次更新し、当会の業務内容の発信に努めた。

<https://www.hatastin.or.jp>

##### (2) 調査研究事業

###### 1. 自主研究事業

次の課題とし、助成額は30万円とした。

課題：「電磁気処理のかんがい水への適用に関する研究」

研究担当者および研究代表者：原口智和 准教授（佐賀大学農学部生物環境科学科）

###### 2. 海外学術調査交流事業

海外の国や組織と畑地農業基盤整備に関する技術交流をすることにより、双方の技術レベルの向上を図ることとしている。本年度は、以下の活動を行った。

1) 国際かんがい排水会議国内委員会に協力し会費を支出した。

2) 台湾農田水利会一行22名の研修団が来日し、畑地かんがい研究集会に参加するとともに、岩手県、宮城県の農業農村整備事業等を案内し意見交換会を行った。

###### 3. 畑地かんがい研究集会事業

農業農村工学会畑地整備研究部会と共催で、第52回畑地かんがい研究集会を東京都、現地検討会を千葉県及び茨城県で開催した。参加者は126名であった。

##### (3) 資格認定事業

###### 1. 畑地かんがい技士養成講習・資格認定事業

畑地農業振興のため、畑地かんがい技術をはじめ、土壌、作物、営農理論など幅広い関連知識を講習し、高度な技術を有する畑地かんがい技士を養成する。

1) 畑地かんがい技士養成講習会：令和元年9月9日～9月13日の間、「機械振興会館」（東京都港区芝公園3-5-8）で開催した。引き続き、技士登録資格認定試験を実施し、有資格者として43名を認定した（認定試験受験者数66名）。

2) 「令和元年度畑地かんがいに係る高収益化、省力化技術活用調査及び普及推進業務」を農林水産省から請負、上記養成講習会にあわせて実施した。

注) 畑地かんがい技士補養成講習会は、平成 22 年度より募集を廃止した。ただし、既に取得済みの本資格は存続する。

## 2. 畑地かんがい技士、技士補の登録業務

1) 本年度の畑地かんがい技士及び畑地かんがい技士補の新規及び更新登録を実施した。

		令和元年 10 月 1 日登録 (人)	令和 2 年 3 月 31 日登録 (人)	合計 (人)
新規登録	技士	9	33	42
	技士補	—	—	—
更新登録	技士	33	236	269
	技士補	44	12	56
合計		86	281	367

令和 2 年 3 月 31 日現在の全体登録者総数 ( ) は前年度

技士：1,526 名 (1,532)

技士補：327 名 (338)

計 1,853 名 (1,870)

2) 畑地かんがい技士、技士補登録者名簿 (令和元年度版) を作成した。

## (4) 調査研究受託事業

### 1. 受託調査研究事業

令和元年度に国等からの請負により実施した調査検討業務・事業は、現時点で 9 件であり、内容に応じて現地調査等を実施し、成果を取りまとめて報告書をそれぞれに提出した。

### 2. 受託機器性能検討事業

旭有機材(株)を代表として当会、農研機構農村工学研究部門など 5 者が、課題「小口径高圧パイプラインシステムの圧力監視・漏水事故原因診断・対策技術の開発」で平成 30 年度から令和元年度まで農林水産省の官民連携新技術研究開発事業補助金を受けて調査研究を行った。

## (5) 図書出版事業

在庫既出版物、「HATASIN on demand BOOKs」の販売を行った。

## 2. 各種委員会の開催状況

1) 畑地かんがい技士登録資格認定委員会 令和元年11月11日

## 3. 会員の状況

	平成30年 4月1日現在	平成31年 4月1日現在	令和2年 4月1日現在
会社会員	9	9	8
団体会員(A)	3	3	3
団体会員(B)	0	0	0
個人会員	30	35	35
計	42	47	46

令和元年度

入会

個人会員 川西雅俊、小林隆信、矢野均  
(平成31年4月1日現在に含む)

退会

会社会員 株式会社栗本鐵工所